

『絶望の歌を唄え』 堂場 瞬一 著

(分類:Fド)

東南アジアで共に遭遇したテロで行方不明になった友。友を失った悲しみと死の恐怖から刑事を辞めた男。そんな折、平穏な日本でテロ爆発が起こった。刑事という過去と断絶した男が再び覚醒する。ハードボイルド・サスペンス。



『名作なんか、こわくない』 柚木 麻子 著

(分類:902ユ)

信じることをあきらめないエネルギー「女の一生」、恋の幕引きに漂う爽快感「返事はあした」、目を背けたい性分を描き切る「嵐が丘」…。柚木麻子が古今東西の名作の魅力を紹介。



『言い訳してる場合か!』 坂東 真理子 著

(分類:159バ)

人生100年時代、50歳は折り返し地点。言い訳しては始まらない! 多くの可能性を持っている50代女性にむけて、これから後の人生も自分らしく輝いて生きるためのヒントと考え方を伝える。



『バナの戦争 ツイートで世界を変えた7歳少女の物語』 ナバ・アベド 著

(分類:302ア)

「今夜、わたしは死んじゃうかもしれない」爆弾の雨の下から、少女は戦争の現実をツイッターで伝え続けた…。「現代のアンネ・フランク」とも呼ばれるバナが、シリアでの暮らしや内戦について語った感動手記。



『あんた、ご飯食うたん?』 中本 忠子 著

(分類:327ナ)

非行に走る子どもの多くが「お腹がすくから悪さをする」ことを知り、以来、約40年にわたり、居場所のない子どもたちに手料理を作りつづける著者が、活動を始めたきっかけや、子どもとの接しかたのルールなどを綴る。



新着図書案内(1/7)

『注文をまちがえる料理店のつくりかた』 小国 士朗 著

(分類：493オ)

注文をとるスタッフがみんな「認知症」のレストラン「注文をまちがえる料理店」が、2017年9月に六本木で3日間だけオープンした。不思議な料理店の奇跡の3日間を再現するフォトドキュメンタリーブック。



『安楽死を遂げるまで』 宮下 洋一 著 (分類：490ミ)

安らかに死ぬ。安楽死は本当に字義通りの逝き方なのか。スイス、オランダ、ベルギー、アメリカ、スペイン、日本。各国の現場を訪ね、安楽死の瞬間にまで立ち会ったジャーナリストが、なぜ彼らは自ら死を選んだのかに迫る。



『レンズが撮らえた幕末維新の日本』 高橋 則英 監修

(分類：210.58レ)

奔走する志士、美しくも逞しい女たち、変貌する日本の風景、世界を見た海外渡航の先駆者たち…。歴史的瞬間を撮らえた貴重な写真で激動の幕末維新を紹介する。カラー特集「手彩色写真で甦った幕末維新」も収録。



『知って役立つ! 家族の法律』 浅野 則明 監修 長橋 晴男 著

(分類：324ナ)

相続、遺言、結婚・離婚と親子関係、成年後見など、日常生活に密接に関係した法律「家族法」を、1テーマ見開き2ページで解説。「普通の市民」が「普通の生活」をする上で、知っておきたい「家族法」の基礎知識が満載。

